

## 会 議 要 旨

会 議 名	平成30年度 第2回館山市社会教育委員会議
開 催 日	平成31年2月12日(火) 午前10時00分から
開催場所	館山市コミュニティセンター2階 第2学習室
出席者	社会教育委員8名、教育長、事務局7名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
<p><b>【会議概要・結果等】</b></p> <p><b>1. 開会</b></p> <p><b>2. 教育長あいさつ</b></p> <p>社会教育は学校教育と両輪をなす、まさに人間の成長にとって重要な教育であると考えており館山市教育委員会としても様々な事業を推進している。</p> <p>当地域においても地域の繋がり等が希薄化しているが、各種団体が様々な取組を行っており、更に連携して取り組んでいくことが必要であると感じている。</p> <p>子どもたちへの教育は学校だけでなく、家庭、社会で育んでいくことが必要。</p> <p>元号も変わり、新たな次代の幕開けとなりますが、これからのまちづくり、地域づくりを推進していく上で、これから益々、社会教育の力が試される。引き続き委員の皆様には連携し、協力をいただきたい。</p> <p><b>3. 議事</b></p> <p>(1) 平成30年度社会教育・社会体育実施事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習課、博物館、図書館、中央公民館、スポーツ課より平成30年度実施事業について報告</li> </ul> <p><b>【質疑応答・意見等】(◎⇒委員質問、意見 ●⇒事務局回答)</b></p> <p>◎ 1点目、中央公民館で実施の家庭教育学級について、児童数(家庭数)の減少によって、開催が難しくなっているのではないかと。</p> <p>保護者のニーズにあった講師が見つかるのか、課題等は何かあるのか。</p> <p>2点目、近年、スマートフォン等の普及により、子ども達は長い文書に触れる機会が少なくなっている為、読解力の低下が危惧されている。特に幼少期の読書の習慣が非常に重要と考えているが、図書館と学校との連携を更に強化し、また、教員に対しても図書館の重要性(校内の図書室も併せて)を改めて感じているが、どのようなアクションを起こしているか。また、今後どのような連携を考えているか。</p> <p>3点目、館山二中がオリパラ教育推進校として取組を行っているが、この辺の地域は大きな大会やイベントの経験が少なく、オリンピック選手や指導者との交流は非常に有効と感じる。教育推進校による、オリパラ教育の推進はまさにいいタイミングであるが、教育推進校だけの取組ではなく、館山市内全部の幼小中学校の取組として、実施していただけないか。</p> <p>● 家庭教育学級については全19学級で実施、学級長はじめ役員により、企画立案、講師との調整等を行い開催している。また、公民館に配置している家庭教育指導員等がアシスタントを行っている。児童数の減少、共働き家庭の増加により役員の負担感が増大している。近隣(南房総市)の状況などは、もっと教育委員会が関わって行っていると</p>	

ころなどもあり、今後、開催のあり方についてさまざまな検討を行い、実のある家庭教育学級にしていきたい。

- 家庭教育学級については、学校行事に合わせて、開催している学級もある。小さい学校は参加が多いが、大きい学校は参加が少ない。

また、幼稚園や子ども園と小学校が合同で開催している学級もある。

- 図書館と学校の連携についてですが、学校等に出向いて読み聞かせやブックトークを行い平成30年度は16回、557人が参加している。

昨年度より利用が増えている状況。今年度は、豊房幼、房南子ども園等で実施しており、小さい頃からの読書は重要と認識しており、今後も引き続き実施していきたい。

- ◎ 学校現場についての報告ですが、朝の時間を使った読書タイムを教職員やボランティアさんの協力により、読み聞かせを実施している。

読書離れの原因として、一番は学校図書館の機能が弱いことが考えられる。

蔵書に限りがありやむを得ない部分もあるが、移動図書館が非常に助かる。

低学年は特に、移動図書館が来ると4、5冊借りる児童もおり、移動図書館は非常にたすかっている。

- スポーツ課のオリパラ教育として、館山二中、豊房小がオリパラ教育推進校の指定を受け、講習会や、パラスポーツの体験会を実施した。

来年度も引き続き補助金を使って実施する予定。管轄は教育総務課が主体で行う。

体験会に出席したが、子ども達が目を輝かせて、実施している。

オリパラ後も引き続き、オリパラ教育は継続していきたい。

関連して、スポーツは、する、見る、支えるとあり、支えるスポーツとして、スポーツボランティアとして若潮マラソン大会、トライアスロン大会で協力をいただいている。

また、パラリンピックの教育は、障がい者の理解にも繋がっている。

- ◎ 読書貯金について、最近の利活用についてはどうか。

- 貯金通帳は1冊について、本が30冊分書き込める。年度当初に配布、満了すると、図書館から完了スタンプを押して返却。館野小は移動図書館が行くたびに満了した通帳を出してくる子が多い。図書館でも、受付している。

- ◎ 駅のバルコニーでゴミが散乱している。学生が利用しているケースが目立つ。

## (2) 平成31年度社会教育関係団体への補助金交付について

- ・生涯学習課、スポーツ課からそれぞれ説明。

⇒了承

**【質疑応答・意見等】** (◎⇒委員質問、意見 ●⇒事務局回答)

- ◎ P T A連絡協議会への補助金が少ないようだが、この金額で事業が行えるのか。

- 補助金としては低額だが、基本的にはP T A会費を徴収し、自主的な費用で活動している、市の補助金はその一部を補助している状況。

- ◎ 青少年相談員は来期の委嘱者数は93名ですか。

- 今年度93名で、来期についても93名の委嘱を考えている。

- ◎ 子どもの減少に伴って青少年相談員の数を減らすことはないのか。

- 地区毎に活動している状況なので、地域活動に支障のないよう来期も93名をなんとか確保できた状況である。

## (3) その他

◎第1回目の会議で提案した生涯学習ボランティアについての取組状況について事務局から説明をお願いします。

●前回の会議において、マイスクールボランティアの提案を受け、まず実際に活用している各学校園に困っていること、利活用の上での改善点等をアンケートさせていただいたところ、様々な意見を頂戴した。

現在、アンケート結果を受けて、来年度以降の登録方法について改善し依頼しているところ。ボランティア募集については、年度当初に市の広報誌で募集記事を掲載する。紙面の都合もあるが、多くの市民が関心を持ってボランティア登録をしていただけるよう紙面を工夫し掲載したいと考えている。

◎ボランティアの高齢化も進み、手続きの簡略化は事務局と一緒に考えていきたい。小学生の校外学習などには、ボランティアの力が必要。

◎家庭倫理の会から、全国の小学生を対象に短歌コンクールを実施しているが、今回、館山市から2名、南房総市から2名の入賞があった。

5、6月頃に文化ホールで発表がある。

◎放課後子ども教室で俳句教室を実施していることから、BS朝日からテレビ出演の依頼があり、那古寺で芸能人との俳句対決の収録があった。3/27日に放送予定。

◎教育委員会主催の校長会があるが、その他に独自で開催している校長会もあるので、行政側も積極的に情報提供の場に活用してもらいたい。

◎委員の皆様も、是非活用をしていただきたい。

#### 4. その他

- ・特に意見無し

#### 5. 閉会

以上